

新エネルギー最前線：環境にやさしい発電で未来を変えよう

日時：平成29年8月5日（土） 15:00 ~ 16:30

場所：池田商工会議所 2階会議室
(C+D 会議室)
大阪府池田市城南1丁目1番1号

対象：一般、高校生以上

参加費：無料

(ドリンク、お菓子をご用意しています)


定員：40名

〆切：8月3日（木）

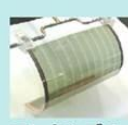
(ただし、定員になり次第締切り)

講師：有機太陽電池コンソーシアム代表
吉川 暹 先生

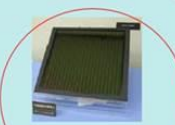
【開発成果詳細】 アプリケーション試作例




透明モジュール



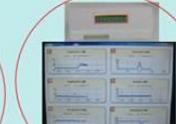
フレキシブルモジュール




30cm角モジュール



電子棚札



スマート環境センサー



人感センサー

12/12

有機太陽電池の多彩な用途展開の可能性
「平成27年度 NEDO 新エネルギー成果報告会」発表資料
http://www.nedo.go.jp/events/report/ZZFF_100013.html

持続可能エネルギーの活用は地球温暖化ガス削減を目指すパリ協定においても重要課題として位置付けられているほか、地域経済発展を図る上で地域資源としても脚光を浴びています。このような状況下、わが国のエネルギーパラダイムシフトの現状について紹介すると共に、次世代太陽電池や、核融合技術、宇宙太陽光発電など未来エネルギーの可能性についても紹介します。

特に、有機太陽電池はグリッドパリティ（系統電力コスト相当）を実現しうる次世代太陽電池としてクローズアップされつつあり、2012年突然現れたペロブスカイト太陽電池は既に22%の太陽光発電効率を実現し、10年以内にも世界を変える新型太陽光発電システムが実現するものと期待されています。

今回は、地産地消のエネルギー源としての再生可能エネルギーの可能性について、太陽光発電の利用を例に皆さんと共に考えてみたいと思います。



主催：国立研究開発法人 産業技術総合研究所関西センター

後援：池田商工会議所

【詳細・申込み先】

<http://www.aist.go.jp/kansai/>

(このホームページから申込んで下さい)

【問い合わせ先】

産業技術総合研究所 関西センター

(大阪府池田市緑丘1-8-31)

産学官連携推進室 kansai-cafe-ml@aist.go.jp